

保護者の皆様へ

今週から6月に入りました。1学期も折り返しです。各学級の授業の様子を見ていると、意欲的に課題に取り組む子供たちの姿がたくさん見られます。発言のルール、ノートの使い方など学習規律も定着してきました。1年生もすっかり大一小の一員として元気に学校生活を楽しんでいます。来週の学校公開は緊急事態宣言下ではありますが、各家庭1名の参観者と制限を設けて実施いたします。我が子の学ぶ姿を本来であれば自由にご覧いただきたいところですが、ご理解をいただくようお願いいたします。

5月には2学年ごとに週末、タブレットPCを持ち帰りました。家庭での利用の様子はいかがでしたか。「〇〇先生とつながったよ」「ぼく、家でもノートPC使っているんだ。」子供たちの生活の中にPCが定着しつつあることが伝わってきました。ソフトケースも配備され、安心して持ち帰ることができます。今後は、学年に応じた課題の提示、課題への取り組み方など、教員の研修も進めながら、効果的な活用方法を引き続き考えていきます。低学年はまだ不慣れなところもありますが、お絵かきソフトでは、様々な機能を使って、表現の幅を広げる姿が見られました。「習うより慣れろ」ですね。今後もタブレットを持ち帰った際にはご家庭でのご支援をよろしくお願いいたします。

1年生が音楽の授業で校歌を練習していました。マスクを外して大きな声で歌いたい気持ちを抑えながら、大一小の校歌の意味を考えながら、練習していました。歌詞の言葉については担任の先生がわかりやすく意味を教えていました。今年から専科の授業となった3年生は、「茶摘み」の歌を練習していました。音楽室で学ぶ学習にも慣れ、適度な間隔をとって一生懸命音程を覚えようと練習に励んでいます。小さな声ですが、中学年らしい透き通ったきれいな歌声が聞こえてきました。



令和3年6月4日

大森第一小学校 校長 尾上 健二